

「いつも読んでいただき、ありがとうございます。」

【住宅・店舗の設計・施工・監理】株式会社 ミズノ 空間設計 ミズノ ～1950年4月1日創業。創業76年目です。～

【会社創業より 27943日(10月1日付)】

2026年10月1日(木曜日) 発行/発信242号



～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO "旬感"だより

vol.236

令和8年10月号

やまよそおう

山粧う

山が化粧をしたように
紅葉で色づく様子

今月の言葉

「頼るものなし」ということ

伊集院静著 “無頼のススメ” より

最初に、「無頼」とはどういうことか、定義らしいことを話しておきます。

無頼とは、単なる外見上の恰好や振る舞い、他人に対する無礼な態度とは違うし、人と群れないアウトサイダーではあっても、孤立したドロップアウトとも違う。

あくまで、その人の心の持ち方、生きる姿勢のことをいう。

無頼とは読んで字のごとく、「頼るものなし」という覚悟のことです。

何かの主義やイズムにせよ、他人の意見にせよ、自分の頭と身体を使って考えるのではなく、いつも何かに寄りかかって生きようとする人には、狭量さと不自由さがついて回ります。

しかし、頼るものなし、と最初から決めていると、まず他人に対して楽でいられる。

自分は、何かや誰かに頼って生きるのではない。

腹の底でそう決めておけば、他人にどう思われようがどうでもよくなります。

無頼でいることで、何か急な厄介事が起きても、いちいちじたばたしなくて済む。

もともと何ものにも頼っていないのだから、いちいち誰かに伺いを立てたり、策を奔したりしなくても、後のことはなるようになると落ち着いていられる。

「頼るものなし」

という姿勢ができると、周りに振り回されて右往左往することがなくなります。

例えば、私は人が長蛇の列を作っているところには絶対に並ばない。

近頃のコンピューター車券と違って、昔は競輪場に行く決められた車券の窓口がそれぞれあって、一番人気の車券のところにはたくさんの人が並んでいたものです。

しかし、人気があって列をなしているからハズレなのだ、そう考えてみる。

「人の行く裏に道あり花の山」

というのは有名な株式投資の格言です。要するに、みんなが一方に寄っていく時は、あえて別の道を進んだほうが大きな実りが得られる。周りに合わせて付和雷同しているだけではダメだということ。これは勝負事のとらえ方だと思っています。

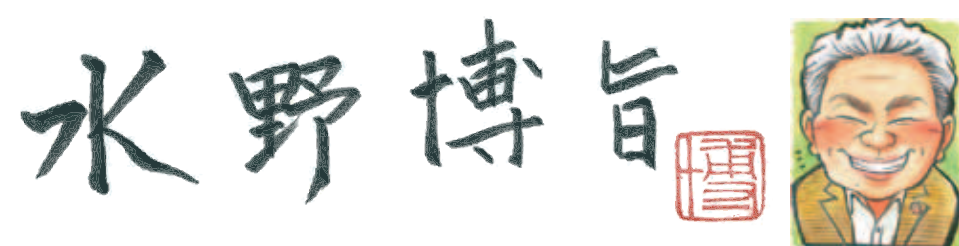
若い頃、周りからうつけとかバカ殿と呼ばれた織田信長が、あるとき立ち寄った沼のほとりで、どうもここには河童がいるらしい、という話になった。

「河童とはどういうものか？」

「いや、中国の話ではこういうものらしく—」

あとは終いまで聞かずに沼に飛び込んでしまったという。

端的な逸話ですが、他人の言うことに左右されない、確かな姿勢というものが感じられる。人の言うことに左右されてばかりだと得られるものは少ない。セルフ・コンフィデンス、ここぞという時に自己確信がなければ勝負事には勝つことはできません。



空間設計 ミズノ vol.113 のデザイン記録



桑名市にある諸戸(宗) 家住宅の煉瓦蔵は、明治から大正の桑名の繁栄を今に伝える建物です。赤レンガを積み上げた重厚な外観は、洋風でありながら、どこか日本の町並みにも馴染んでいます。レンガの積み方は「イギリス積み」と呼ばれ、アーチ状の開口部など細部にも当時の建築技術を見ることができます。防火性や耐久性に優れたレンガは、大切な品々を守る「蔵」にも適した素材です。昭和20年の戦災で一部が焼失しましたが、現在も3棟が残っています。幾度もの時代をくぐり抜けてきたレンガの壁は、桑名の歴史そのものが積み重なっているように見えます。 スケッチ・文：水野真宏

あいちのたてもの
博覧会
Aichi no Tatemono Hakurankai
2026

一斉公開
10/31～11/29

今年も水野が建物解説します！

名古屋近代建築の名作を建築士の視点でご案内します。是非、ご参加ください。

名古屋陶磁器会館～建物解説～

10月31日(土)14時～15時 定員20名(先着順)

※受付開始日に定員を超えた場合は抽選となります。

【予約は10/13～WEBサイト↓にて】

県内の普段入ることのできない建物が特別に公開されます。
詳細・見学予約のお申込みはWEBサイトでご確認ください。



伝統再築士による

古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の
高い木造物を残すための専門家

【名古屋の雨水排水について】

名古屋市は、都市化により田畑やため池など保水機能が減少し、雨水が一気に河川や下水道へ流れ込むことで浸水被害が増加しました。そこで1979年「名古屋市総合排水計画」を策定し、1時間50mm程の雨に対応することを目指しました。しかし、2000年に1時間雨量97mmを記録した東海豪雨で多くの浸水被害が発生したため、更に高い排水能力を持たせる「緊急雨水整備事業」を開始しました。この事業では、原則1時間60mm程の雨に対応するよう、①雨水ポンプの強化 ②下水管の増強 ③雨水調整池の整備 が実施され、それからは全ての水を直接川に流すのではなく、一旦地下に溜め、雨量が減ってから排水する方式になり、ポンプ排水能力は約1.3倍、雨水貯留量は約6.3倍となりました。これにより、先月の1時間雨量104.5mmの豪雨で発生した浸水は約1日で解消されたそうです。近年の短時間に降る非常に強い雨に対応できるよう、更なる排水能力の向上を目指し、現在も計画が続いています。

この旬感だよりは
ホームページでも
ご覧いただけます。

株式会社 ミズノ ホームページ→
www.mizuno1950.co.jp



空間設計 ミズノ ホームページ→
www.mizuno-architects.com



— お客様専用フリーダイヤル —

さわやかなすまいに

0120-387-312

mizuno@mizuno1950.co.jp



— 建築は、建てることより育てること —

株式会社 ミズノ 空間設計 ミズノ

一級建築士事務所



今年もこの季節です！新米、もう召し上がりましたか？
新米が美味しい理由は、甘みや旨みのもととなるデンプンやタンパク質が豊富であること、さらに、収穫から間もないため細胞の壁が柔らかく、お米の中まで素早く水が浸透するので、炊いた時に甘みや粘り（デンプンの糊化）が出やすいからです。その年の12月31日までに袋詰めされたものを『新米』とします。他にも、知っているようで知らない、お米のいろはをご紹介します。

●一粒の粳(もみ)から収穫できるお米はどのくらい？

“粳”は稲穂から外したそのまま(粳殻付き)の状態で、これが次の年の種となります。一粒の粳から発芽した1本の苗は、田んぼに植えられ成長すると10～15本の稲穂を出します。稲穂には50粒程のお米が実るので、一粒の粳からは500粒程のお米が収穫できます。“お米500粒”ってどのくらいの量でしょうね？答えは、“軽く一口分”です。ちなみに、粳から粳殻を取ったものが“玄米”、玄米を精米(糠や胚芽を取る)したものが“白米”です。

●『米』の漢字にはどんな意味がある？

88歳になると“米寿”と呼ばれるように、“米＝八十八”になります。これはお米が収穫できるまでに88回の手間をかけるという意味が込められているといわれています。また、横向きになった稲穂を表現している(→)、など諸説あるようです。



●日本人のソウルフード“おにぎり”はいつから食べられている？

近年、日本だけでなく世界でも大人気な“おにぎり”は、なんと弥生時代から食べられていたようです。石川県中能登町の遺跡から、もち米を蒸して固めて焼かれたおにぎり状の「チマキ炭化米塊」が発見されています。奈良時代には、「風土記」の中で“握飯(にぎりいひ)”という言葉が、平安時代には蒸したもち米を握り固めた“屯食(とんじき)”が存在したことが確認されています。おにぎりは日本のファストフード・テイクアウト食の原点ですね！

【お米を美味しく炊く裏ワザ】お米1合につき“氷”を1～2個入れます。水温が下がり、沸騰までの時間が長くなり、甘みとモチモチ感がアップします。(注)氷の分、水は減らしてください。



駆け出し建築士の BOOKS & CINEMAS

■アイアンマン／監督：ジョン・ファヴロー



主人公トニー・スタークの自邸は、カリフォルニアの海岸に面した断崖に建つ、現代的で開放的な住宅です。建物はCGで描かれており、実在しませんが、建築デザインに注目すると、とても興味深いです。

スターク邸のデザインはジョン・ロートナーの建築から影響を受けているといわれており、断崖に溶け込む美しい曲線や水平に広がる大きな開口部を見ると、それが伝わってきます。また、ジョン・ロートナーの師はフランク・ロイド・ライトで、岩をそのままインテリアとして使うなど、ライト建築の特徴である“自然と一体化する建築デザイン”も反映されているのがわかります。また、インテリアはホログラムや人工知能などのハイテク機器とイームズチェアやARCOランプなどのミッドセンチュリー家具がミックスされた構成が、まるでトニー・スタークの人間性を表しているようでした。

何気なく映画を観るだけだと「きれいな豪邸！」で終わってしましますが、こういう視点で見えてみると建築もキャラクター表現の一部ということがよくわかります。

第83回ミズノメセナイイベント報告 9月26日(土)、満席にて無事終了致しました。



コントラバス・フォーコンサート ～四重奏で楽しむ名曲たち～

オーケストラの中では、建物でいうと“基礎”や“大黒柱”のような存在のコントラバス。多くの方が単独演奏を聴くことが初めてのようで、想像を超える多彩な音色に魅了されていました。大きさや弦の数によって個性が様々なことも驚きでした。

前半はクラシック、後半は懐かしい昭和歌謡など名曲揃いのプログラムでした。コントラバス四重奏に合わせ、リーダーの榊原利修氏が自ラ行方アレンジはとてユニークで、曲とコントラバスの魅力が何倍にもなっていたように思います。今回特に人気だったのは『与作Take5』でした！



コントラバス・フォーのみなさん、
ご来場のみなさん、ありがとうございました。

住宅・店舗の設計・施工・監理 - 1950年創業 -

株式会社 ミズノ

- 徳川本社 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番3号
名古屋陶磁器会館1階103号室
【お客様相談窓口 0120-387-312】
- 設計部 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番3号
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL 052-982-8316 FAX 052-982-8357
- 港支店 〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL 052-652-6886 FAX 052-661-0653

住宅・店舗等の新築設計施工／リフォーム・リノベーション・
コンバージョン(用途変更)の設計施工／エクステリア・
ランドデザインの設計施工など、ご相談ください。

